

パソコン教室 三回目 クレイアニメーションの作成

3. 1 クレイアニメーションとは

クレイアニメーション作りに必要なものはまず粘土（ねんど）です。アニメーションにこだわらなければどんな粘土でも使えます。粘土にさわる前には必ず手を洗ってください。手にはいがいと小さなホコリがたくさん付いているものです。ホコリの付いた手で作品を作ると、作品の表面にホコリがたくさんついて、写真をとった時にけっこう目立ちます。また、粘土を手で丸める時には例えば赤い粘土を丸めた手で白い粘土を丸めると赤い色が付いてしまいますので、明るい色の粘土から作るようにしましょう。

3. 2 クレイモデルを作成してみましょう

今回、粘土は6色用意しています。この粘土を使用して、以下の手順でペンギンを作りましょう。

★黒の粘土^{ねんど}で2つの球を作り、頭と胴体^{どうたい}を作ります。



★胴体^{どうたい}の一部を切り離します。



★切り取った部分と同じぐらいのものを白の粘土^{ねんど}で作直し、元に戻します。



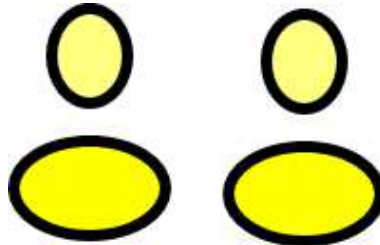
★頭と胸を針金はりかねでくっつけます。



★羽も作って胴体どうたいに取り付けます。



★黄色の粘土ねんどを丸めて、足を作ります。



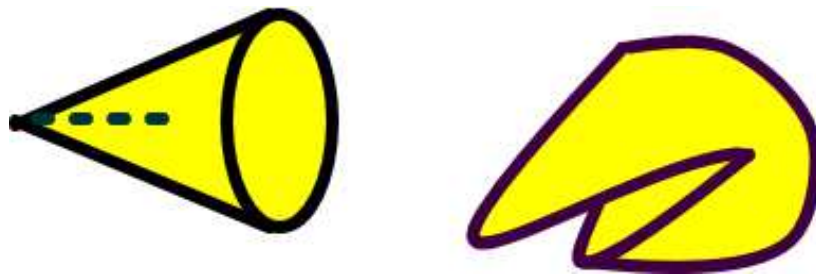
★この2つを針金はりかねでくっつけてできあがり。爪はへらで作ってね。



★足と胴体どうたいをくっつけましょう



★黄色の粘土ねんどで円錐（えんすい）を作り，切込みを入れてくちばしを作ります。



★白粘土ねんどで楕円形の平たい形状と黒粘土ねんどを小さく丸めたもので目をつくります。



★頭部に取り付けるとペンギンの完成です



★最後に、^{どうだい}胴体から尻尾として指でつまみ出してあげるといいでしょう。



注意：次回で使用できなくなりますので、色の異なるクレイ同士を混ぜ合わしたりしないようにしてください。異なる色同士のクレイは、針金を使用して、接続してください。

3. 3 クレイモデルの撮影

作成したペンギンに対して、以下に示す3つのペンギンの動作パターンを撮影します。



撮影された画像に対して、②, ①, ③, ①, ②, . . . と繰り返し画像を表示させることによって、ペンギンが歩いている動作を表現します。

3. 4 画像の移動と取り込み

デジカメにある画像をパソコンに移動します。移動方法は、お手伝いの学生に聞いてください。